CAR MULTIMEDIA ENTERTAINMENT

プロフェッショナルカーエンターテイメントマルチメディア

目　次

ご挨拶 1
警　告 1
ディスクの取扱方法 1
画面操作 4
メインメニュー画面 4
※ラジオの操作 5
※マルチメディア画面 6
※DVDの操作 7
※ナビゲーションの操作 8
※Bluetoothで電話をする 10
※Bluetoothで音楽を聴く 13
※iPodを使う 15
※AUX（外部入力）を使う 16
※各種設定画面 16
※ステアコントロール機能を使う 21
ユーザーフレンドリー機能 22
基本操作 23
※リモコンボタンの機能と操作 23
※タッチパネルの機能と操作 25
リモコンを使う 27
故障かな？と思ったら 28
接続配線図 29
付属品 31

安全運転のお願い

●本器を操作する場合は、安全な場所に停車してから操作してください。
●車を運転する方は、運転中に画面を注視したり、本機の操作をしないで下さい。
●運転中の携帯電話操作、画面注視は道路交通法で禁止されています。
●事故発生時はお客様の責任となりますので、安全に対し十分に配慮をお願いします。
●万一事故が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いません。

ご挨拶

●この度は商品をご購入いただき誠にありがとうございます。

● 本製品を正しくご使用いただくため、取扱説明書をよくお読みください。

● お読みなった後も取扱説明書は大切に保管してください。

警告と注意

1.湿度の高い場所に保管しないで下さい。感電や火災事故の原因となります。
2.本機内部には多くの電子部品を使用しています。分解や不正改造は絶対にしないで下さい。故障の際は、自分で分解修理は行わず、必ずメーカーへご依頼ください。分解や不正改造が認められた場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。
3.本機は12ボルトマイナスアース車専用となります。ボルト車への使用はしないで下さい。24ボルトで使用する場合は、変圧器を介し、ボルトに調整してください。
4.ディスク挿入口への異物混入には風聞ご注意ください。内部にホコリやごみが侵入すると、ピックアップ不良の原因となり、ディスクの再生不良やディスクを傷つける原因となります。汚れたディスクは、乾いた柔らかい布でやさしく拭いてから使用してください。
5.長時間のディスク再生や大音量での再生など、極端な高負荷使用条件下では、本機の寿命を短くすることがあります。長くご愛用頂くためにも、適度な条件下での使用をお勧めします。
6.タッチパネルは非常にデリケートな素材構成となっております。固いものをタッチパネルに当てないよう、十分にご注意ください。

7.本機を取り付ける際は、バッテリーのマイナス端子を必ず外して作業を行ってください。予期せぬ接触によるショートで、ケガや故障を引き起こす原因となります。
8.本機のハーネス端子で必要のないものは、必ず絶縁処理をし、きれいに束ねてください。金属部接触によるショートが発生し、本機や車両のヒューズ切れなどの原因となります。
9.ヒューズが切れた場合は、本機指定15Aのヒューズを使用し、指定容量以外のヒューズは、絶対に使用しないで下さい。過電流が発生した場合、本機破損の可能性があります。
10.車種によっては、キーオフしてもACC電源がオフにならない場合があります。キーオフでオーディオ電源がオフになるか確認してください。
11.本機のアンプリモート端子は、外部アンプの電源として使用しないで下さい。
12.誤ったハーネスの接続は故障の原因となります。必ず説明書の配線図に従って接続してください。
13.本機と接続するスピーカーは、最少定格入力50W/4Ωのものを使用してください。
14.接続や使用方法で不明な点は自ら判断せず、メーカーにお問い合わせください
15.バックカメラ映像は、映し出す範囲に限りがありますので、カメラだけに頼らず、直接後方を確認してください。
（注）：製品改良のため、予告なく仕様変更をする場合があります。

トレードマークについて

・エリアコードビデオ出力フォーマット日本の映像出力形式はPALです。
・ドルビーデジタルサラウンドドルビー収録メディアは、クリアな臨場感が特徴です。
・デジタルシアターサラウンド収録メディアは、低音域での臨場感が特徴です。
・チャンネルオーディオつのスピーカー＋サブウーファーでリアルな音場を再現します。
・ビデオモード映像をワイド画面でお楽しみいただけます。
・チャンネルステレオ出力--- 左右のスピーカーでステレオ音声をお楽しみいただけます
・トラック数--- 再生中にトラック数を表示する事ができます。
・サブタイトル--- 各国の言語字幕を表示させることができます。
・クローズドキャプション--- 聴覚障碍者向けに、放送内容を字幕で解説します。
・映像アングル--- アングル収録メディアは、再生中にアングルを変更できます。
・視聴年齢制限--- 成人向け番組を未成年が視聴できないようにします（指定）

（注）：ご使用のディスクがこれらの機能をサポート（関連付けられていない）場合は、再生時に効果を得る事ができません。再生する前にこれらの機能のインストールを確認するか、画面の指示に従ってください。

また、最高のパフォーマンスを発揮させるためにも、ディスクの取り扱いや状態について、次の点にご注意ください。

(1) ディスクを傷つけないよう、ディスクのエッジを持って取り出してください。
(2) ディスクにラベルやタグの添付してあるものは使用しないで下さい。
(3) ディスクが汚れている場合は、乾いた柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かってやさしく拭いてください。
(4) 直射日光の当たる場所や車内など、高温となる場所での長時間の保管はしないで下さい。
(5) 接着剤やインクはディスクに使用しないでください。

タッチ操作用メニューアイコン

◆以下のモードの
◆は、タッチ操作用のメニューアイコンを画面に表示させることができます。
◆タッチアイコン機能
・DVDディスク再生
DVD-R、DVD-RW、DVDとの互換性+ R、DVD+RW、CD-R、 CD-RW、CD-DA、MP3、WMA、SVCD、VCDやMPEG1、 MPEG2、MPEG4、JPEG形式のディスク。
・USB、SDカード再生 MP3、WMA、WAV、ASF、AVI、MP4、MPEG1、との互換性。MPEG2、MPEG4、JPEG、RMVB（720P）形式のメモリー。 SDとUSB（2.0）インターフェースをサポート。
◆iPodモード
・本機はiPodプレーヤーを接続し、本機タッチパネルで操作することができます。
◆ラジオモード
・ラジオチャンネルは、×18局、×12局、合計局分をメモリーできます。
・オートプリセット、マニュアルプリセット、プリセットチャンネルのイントロダクションが可能です。
◆AUX入力、出力、パワーアンプやその他の機能
・２系統の映像入力が可能です。
・バックカメラ映像切換え機能（正像/鏡像に切換可能）
・４チャンネル出力アンプで直接スピーカー駆動可能です。
・２チャンネルオーディオ出力＋１チャンネルサブウーファー出力が可能です。
・バックカメラモードへの自動切り替え機能搭載。
・オールモードリモコンで、全ての機能の操作が可能です。
◆GPSナビゲーション
・ハイテクナビゲーションシステムを搭載しています。
◆Bluetooth（ブルートゥース）機能
・内蔵BluetoothはBluetooth対応携帯や音楽プレーヤーをサポートします。

◆タコグラフ機能
・オプションのDVRを装着すると、ドライブレコーダーとして機能します。
◆ゲーム機能
・本機は「倉庫番」「ロシアブロックゲーム」を内蔵しています。

メインメニューインターフェース
・各アイコンにタッチすると、タッチしたソースに切り替わります。
・デバイスの接続されていないアイコンにタッチしても切り替わりません。
・アイコンを長押後、任意の場所にアイコンを移動できます。
・設定モードから背景画像の変更ができます。

AM/FMラジオモード

・高感度チューナーを搭載し、チャンネルのオートプリセット、メモリチャンネルストレージ、周波数、周波数チューニング、その他機能を画面に表示します。

※下図はFMチャネルインターフェース

①⑨をショートタッチするごとに、周波数を0.1MHzずつ送ったり、戻すことができます。
ロングタッチでは自動でラジオ局をサーチし、受信するとサーチを停止します。
②FM放送では、タッチするごとにステレオとモノラルを切換えできます。
AM放送はモノラル固定となります。デフォルトではモノラル設定となっています。
③受信する範囲を設定できます。遠方の放送を受信させたい場合は「遠距離」、
近くの放送を受信する場合は「近距離」を選択すると最適です。
④バンドキーをショートタッチするごとに、の順番で切り替わります。
⑤サーチキーをショートタッチすると、プリセットチャンネルのイントロダクションを行います。
もう一度ショートタッチすると停止します。サーチキーをロングタッチすると、自動
でサーチを開始し、受信した放送局を自動でプリセットします（＝オートプリセット）
⑥⑦⑧ [TA] [PTY] [AF]は、日本仕様はサポートしていません。
⑩ストレージキーをロングタッチすると、チャンネルをプリセットします。ショート
タッチすると、プリセットしたチャンネルンの放送を聴くことができます。

※マルチメディア再生機能

1 本機はDVD/VCD/SVCD/CD/MP3/WMA/MP4/AVI/RMVB（720P）と他のオーディオ
2 およびビデオフォーマットをサポートしています。
3 USB / SD / MMCカードでビデオ再生ができます。
4 JPEG / BMPなどの画像ブラウザをサポートしています。
5 フォルダ内のディレクトリー覧から選択して再生する事ができます。
6 本機は電子衝撃保護機能（ESP）機能を搭載しています。

◆ディスクおよびメディアの再生

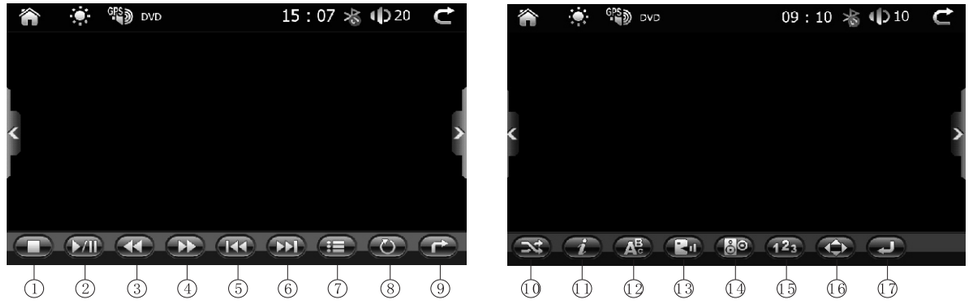
注意：ディスクは常にきれいな規定のディスクを使用してください。

(1)CDをディスクスロットに挿入すると、自動で再生が始まります。生中、画面に一度タッチすると、ファンクションキーとメニューバーが表示され、操作が行われない場合は、約7秒でフルスクリーンに戻ります。[ ]キーをタッチすると、メインインターフェースが表示され、他のソースを選択できます。操作が行われない場合は、約20秒でフルスクリーンに戻ります。

(2)USBまたはSDカードを挿入すると、自動で読み込みを開始し、再生が始まります。メディア挿入後は、メインインターフェースのUSB[ ]またはSD[ ]をタッチするか、VOLUMEボタンをショートプッシュすることで、ソースを選択して再生できます。

(3) DVDインターフェースの操作画面は、一度画面にタッチすると下図のようにファンクションキーとメニューバーが表示されます。

※下図はDVDインターフェース



①巻き戻し　②一時停止再生　③停止　④早送り　⑤チャプター戻し　⑥チャプター送り
⑦メニューキー　⑧リピート（オーディオビデオプレーヤーは、トラックリピート、オールリピートを選択できます）
⑨次のインターフェースに送る
⑩ランダム再生（オーディオビデオプレーヤーで、ランダム再生を選択できます）
⑪インフォメーション（オーディオビデオの再生にはOSD再生情報を表示します）
⑫字幕（オーディオビデオの再生時に字幕表示を選択できます。（※ディスクが字幕をサポートしていない場合は不可）
⑬言語（オーディオビデオの再生には、再生言語を選択することができます。（※ディスクが字幕をサポートしていない場合は不可）
⑭出力チャンネル（オーディオビデオプレーヤーでは、チャンネル選択を行うことができます）
⑮数字キー（オーディオビデオプレーヤーでは、トラック番号を入力して、直接選局することができます）
⑯カーソルキー（ビデオや画像再生時にズームを使用している場合、上下にカーソルで画像映像を移動することができます）
⑰前のインターフェースに戻る

GPSナビゲーション

▲注意事項と警告
(1) ナビゲーションは位置情報と地図情報をもとに、システムを構成しています。ナビゲーションが提供する情報は、必ずしも正確ではありません。地形や天候などによって正確に表示できない場合がありますので、実際の交通規制にしたがって走行してください。
(2) の初期測位は時間がかかる場合があります。障害物の無い場所で測位を行ってください。測位に時間がかかる場合はその場所から動かないで下さい。状況や場所、衛星信号強度に応じて、測位完了までに2分以上かかる場合がありますが、故障ではありません。
(3) 運転しながらの操作は非常に危険です。ルート設定などをする場合は、必ず停車して操作してください。目的地案内中は、画面を注視しないよう、実際の交通規制に従って安全運転をお願いします。万が一事故が発生しても、当社は責任を負うものではありませんので、十分にご注意ください。
(4) 高層ビル、トンネル、山岳地帯、悪天候、携帯電話基地局、電波障害などの要因で、現在地を正確に表示できない場合があります。再び衛星信号を受信した場合は、速やかに現在地を表示し、ルート案内を再開します。
(5) 携帯電話などの通信機器が、と干渉する可能性がありますのでご注意ください。
(6) ルート案内指示は必ずしも正確なものではありません。通行規制やその改正（進入禁止、右左折禁止、時間帯規制、新道路など）によって正確でない場合があります。あくまでも案内補助であり、案内を保証するものではありませんので、実際の交通規制、道路交通法を遵守の上、安全運転をお願いします。

◆GPSナビゲーション機能
・本機はナビゲーションマップが装備されています（注：一部のモデルにのみ装備）
(A)分かりにくい分岐や交差点なども、ライブマップによってリアルに表示されるため、迷う心配はありません。下図はその一例です。

(B)ライブマップは、主要都市をカバー

(C)リアルアクション：正確でスピーディーな音声ナビゲーションは、ルートプロセスに一役買います。タイムリーかつ迅速に、ドライバーにとって最良の選択をサポートし、画面に表示します。カーマルチメディアナビゲーションシステムはタイムリーかつ効率的な交通情報を提供するため、高精度ナビゲーションマップを組み合わせ、あなたの旅を快適にサポートします！

※ナビゲーションの詳細については、ヘルプメニューから、「のインターフェース機能」をお読みください。

ブルートゥースインタフェース

●Bluetoothとは

・を搭載しているため、携帯電話のハンズフリー通話やMP3再生を本機で再生することができます。モバイルと本機をペアリング設定することで、車に乗る度に自動でペアリングをしますので、余計な操作は必要ありません。常に使用できる状態になります。

※接続するためには、対応の携帯電話、端末である必要があります。

●携帯電話とBluetoothをペアリングする

(1) 本機のメインメニューインターフェースよりBluetoothアイコンにタッチし、モードを起動すると、インターフェースが表示されます。

(2) お使いの携帯電話のBluetoothをオンにしするとデバイス検索を開始します。

(3)各携帯電の説明書に従って操作してください）（携帯電話がデバイス検索を完了すると、パスキーの入力を要求されますので、本機の「ペアリングキー」をタッチします。画面に表示されるペアキー（初期設定は0000）を携帯電話に入力してください。

(4)ペアリングが成功すると、接続完了]のプロンプトが表示され、デバイスが接続されていることを表します。

(5) ペアリング完了後は、毎回自動でデバイス検索し接続します。

【図3】

●Bluetoothの基本操作

・ブルートゥース電話機のインターフェース操作（図1.2.4.5.参照）

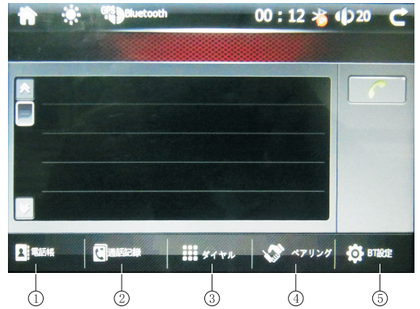
(1)応答キーにタッチすると、かかってきた電話に出るもしくは、電話をかけることができます。

(2)終了キーにタッチすると、通話を終了します。

(3)テンキーで電話番号を入力し、発信することができます。

(4)電話帳キーにタッチすると、ペアリングした端末の電話帳を呼び出し、発信したいアドレスにタッチして電話をかけることができます。

(5)通話記録キーにタッチすると、発着信履歴を確認できます。



【図1】

【図2】

(6)ダイヤルキーにタッチすると、テンキー画面が表示され、番号入力ができます。
(7)ペアリングキーにタッチすると、外部デバイスとのペアリングを行います。
(8)BT設定キーにタッチすると、自動受話のON/OFF、パスキーの設定ができます。

1. Deleteキー：入力した番号を、タッチするごとに削除します。
2. 応答/発信キー：電話を受けたり発信することができます。
3. リダイヤルキー：最後にダイヤルした電話番号をリダイヤルします。
4. 終了キー：通話を終了する/着信を拒否するには、このキーにタッチします。
5. 音声スイッチキー：通話音声をスピーカーフォンに切り替えます。

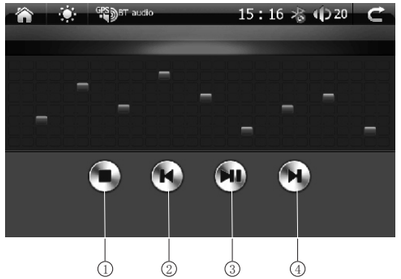
【図4】

1. 接続キー：を接続します。
2. 切断キー：接続を切断します。
3. ペアリングキー：登録デバイスとペアリングします。

【図5】

1. 設定キー：設定キーをタッチし、好きな番号４桁を入力します。（注：ブルートゥースを変更すると、初期パスワードに置き換えられます。）
2. OKキー：キーをタッチすると、入力した番号を有効にします。
3. 自動受話キー：自動受話の設定ができます。自動受話をオンにするにはステータスバーを左に、オフにする場合はステータスバーを右にタッチします。

Bluetooth音楽

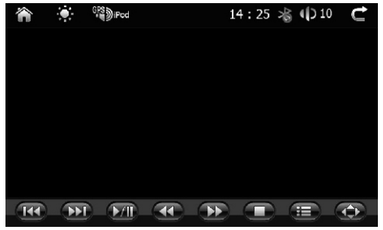


・音楽機能は、オーディオ出力対応の携帯
電話でのみ使用できます。

①停止キー：再生を停止するには、この
キーをタッチします。
②④スキップキー：前の曲、次の曲に移動します。
③再生/一時停止キー：再生と一時停止を行います。

iPod機能

【図１インターフェース】



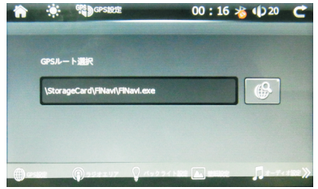
・本機はiPod・シリーズをサポートしています。
・標準装備の専用ケーブルで本機とiPod・を接
続すれば、お手持ちのデータを車内でお楽し
み頂けます。
・専用ケーブルは多くの機種と世代に対応して
おり、の各種機能をタッチパネルで直接操作
できます。
・ステアリングコントロールでの操作にも対応
しますので、操作時の視線移動も最小限で安
全運転にも貢献します。（※ステアリングコ
ントロールは、接続および設定が必要です）

・曲名表示やトラック表示など、メディア情報の表示も可能です。
・再生中も充電を行うため、バッテリー切れを心配することなく、思う存分に楽しむことができます。

AUX
・映像：２系統の映像入力端子と映像出力端子を装備しています。
・音声：１系統の音声入力端子（）と音声出力端子（）を装備しています。
・多くの入力端子を装備していますので、使い方次第で多彩なアレンジにも対応します。
・メインメニューインターフェースの[AV入力1]、入力2] アイコンをタッチすると、切換えをすることができます。

設定画面
・設定画面では各機能の設定ができます。
・設定、ラジオエリア設定、バックライト設定、壁紙設定、オーディオ設定、言語設定、時間設定、起動アイコン設定、システム情報、システム設定、ステアコントロール設定、画面表示OFF設定、初期設定を、変更および設定することができます。
・メインインターフェースから[ ]設定アイコンをタッチし、画面下に表示されるメニューバーから、設定したい項目キーにタッチすると、項目ごとの画面が開き設定をすることができます。

GPSルート選択
1. GPS設定画面の検索キー[ ]にタッチします。
2. マップカードのフォルダからファイル名を選択します。
3. ファイルの読み込みが完了したら、[OK]をタッチします。



ラジオエリアの選択
・５つの地域のラジオエリアをサポートしています。
(1)メインインターフェース→設定→ラジオエリアから選択画面に入り、[日本]を選択してください。

壁紙設定
・ここではメインインターフェースの壁紙を17種類の中から設定することができます。また、任意の画像を登録して、壁紙として使用することもできます。
（1）メインインターフェース→設定→壁紙設定から設定画面に入り、お好みの壁紙を設定することができます。

バックライト設定
・好みに応じてバックライトの明るさを設定することができます。
（1）メインインターフェース→設定→バックライト設定より、調整画面に入り設定してください。
ノーマル、ソフト、明るい、をワンタッチで変更できるほか、任意で21段階の調整ができます。

サウンド設定
●本機には６種類のEQが登録されています。（ノーマル、クラシック、ポップ、ロック、ホール、映画）、
●お好みに応じて、ワンタッチで設定できるほか、低音、中音、高音を、任意で14段階に調整することもできます。
●任意で調整できる項目は以下の通りです。
（1）音質各段階（低音、中音、高音）
・前後フェダー、左右バランス各段階
（2）サブウーファー（カットオフ周波数：）
（3）ゲーム音量20段階　・音量40段階
・音量40段階

言語設定
●本機は10種類の言語に対応しています。
（1）メインインターフェース→設定→言語設定から、日本語にタッチすると確定されます。
（2）インターフェースを閉じると反映されます。

時間設定
●時間と日付を表示することができます。時間表示、時間表示ができるほか、GPSとの同期で正確な時間を表示します。
（1）メインインターフェース→設定→時間設定から設定画面に入り調整します。
（2)調整後、インターフェースを閉じることで反映されます

起動アイコン設定
●ここでは、４１種類のエンブレムとオリジナル１種類を選択することができます。メインインターフェース→設定→起動アイコンを選択します。

（1）エンブレム画面が表示されたら、お好みのエンブレムにタッチし、OKキーをタッチします。
（2）選択後[アップグレード成功]と表示され、インターフェースを閉じることで反映されます。

◎任意の画像を登録することもできます（16ビット/解像度800＊480 BMP対応）
（1）GPSカードスロットにSDカードを挿入します。
（2）[ ]アイコンにタッチし、画像の取り込みが完了したら、[OK]にタッチします。
（3）SDカードにフォーマットー貫性のあるコピー画像を確認して[OK]をタッチに適切なファイルを見アップグレードが完了すると、[アップグレード成功]と表示されます。

システム情報
●システムのバージョン情報を表示します。
●メインインターフェース→設定→システム情報をタッチすると、バージョンが表示されます。
●タッチパネル補正キーにタッチすると、タッチパネルを補正することができます。
●初期設定キーにタッチすると、工場出荷時の状態にリセットします。

■タッチパネルの補正
①メインインターフェース→設定→システム情報をタッチすると、「タッチパネル補正キー」が表示されます。
②タッチパネル補正キーにタッチすると、「タッチパネルの補正を行いますか？」と表示されるので、「」にタッチします。
③補正画面に従って、順番に十字キーをタッチします。
④画面上部に「」キーが出たらタッチして完了です。

■リモコンを使ってタッチパネル補正モードに入る
①リモコンの押すと、[◉]、[ZOOM]、[▲]、[▼]を押します。
②校正画面に従って十字キーを順番にタッチし、[OK]にタッチすると完了です。
■本機のEJECTキーでタッチパネル補正モードに入る
①[▲]を8秒以上長押しして校正画面に入ります。
②校正画面に従って十字キーを順番にタッチし、[OK]にタッチすると完了です。

システム設定
●システム設定では、音、ブレーキ信号チェック、ボタンバックライトカラーを変更をすることができます。
（1）メインインターフェース→設定→システム設定より設定画面に入ります。
■BEEP音：にすると操作音が鳴り、にすると操作音はなりません。
■ブレーキ信号チェック：にすると、ブレーキ信号コードが接続されていない場合は、映像を観ることはできません。にすると、ブレーキ信号の有無に関わらず、映像視聴が可能になります。
■LED1は、ボタンバックライトはブルーに、はホワイトになります。
インターフェースを閉じると設定が反映されます。
※事故防止のため、ブレーキ信号コードは必ず接続してください！

ステアリングホイール設定
●ステアリンボタン装着車両は、本機と接続してステアリモコンを使用することができます。
（1）メインインターフェース→設定→ステアリングより設定画面に入ります。
（2）車両側のステアリングボタンを、本機が認識するまで押し続けます。
（3）本機が信号を認識したら、設定したい項目キーにタッチします。
（4）これで一つの機能の登録が完了します。
（5）（1）～（4）の作業を繰り返し行うことで、ステアリモコンの学習を完了します。

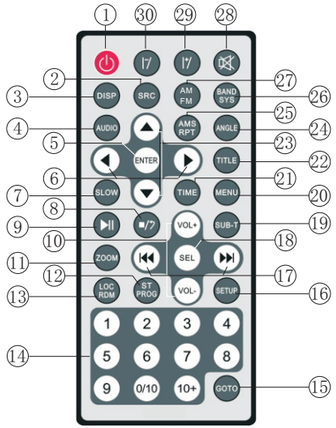
画面表示設定
●任意に設定した時間が経過すると、画面を非表示にすることができます。
（1）メインインターフェース→設定→画面表示OFFより設定画面に入ります。
（2）分、分、分、キャンセル、画面表示OFFより選択することができます。
（3）選択後、インターフェースを閉じると反映されます。

ユーザーフレンドリー機能

●バックカメラ機能
本機はバックカメラをサポートしています。バックカメラを接続しバック信号が入力されると、再生中でも自動でバックカメラモードに切り替わりますので、バック走行時の安全をサポートします。バックカメラに映し出される範囲には限界があります。必ず後方を直接確認してください。
●ブレーキ検出機能
本機は走行中の安全のため、ブレーキ信号検出機能を装備していますので、走行中はDVDなどの映像を観ることはできません。本機能を必ず接続し、安全運転にご留意ください。
●ヘッドライト検出機能
本機はイルミネーション信号が入力されると、自動で画面を暗くする機能（オートディマー）を装備しています。夜間運転時は画面の輝度を調整し、運転に支障をきたさないように配慮しています。任意で輝度を調整したり、画面表示をOFFにする[オフスクリーン機能]を装備しています。
●電話ミュート機能
電話ミュート信号線が装備されていますので、着信の際は、オーディオミュートにすることができます。

●GPSナビゲーションオーディオミュート機能メインインターフェース[ ]アイコンをタッチすると、ナビ音声をミュートすることでき、再度アイコンにタッチすると復帰します。
（※オーディオボリュームへの影響はありません）

リモコンボタンの機能と名称

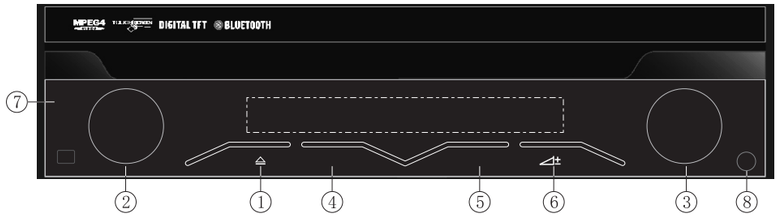


1、電源キー：本体の電源をON/OFFします。
2、ソースキー：メインインターフェースに戻り、各ソースへの切換えができます。
3、ディスプレイキー：、、カード、現在の再生情報を表示します。
4、チャンネルキー：、、カード、言語選択（）が可能、このキーを押す　　と、チャンネル変更ができます（）。
5、：選択した内容を決定します。
6、カーソルキー：、カード再生時に左右キーで選曲することができます。
7、スロー再生キー：、カード、モードをスロー再生します。
8、停止キー：ディスク、、カードの再生を停止します。
9、再生/一時停止キー：ディスク、、カードの再生/一時停止を行います。
10、ボリュームキー：音量を調整します。
11、キー：イメージスケールを変更します。

12、キー：ラジオモードで、ステレオモノラルを設定します。
13、キー：ラジオモードで、遠方、近郊の放送を受信する際に使用します。
14、テンキーでダイレクト選局などを行います。
15、キー：モードではトラック機能の選択ができます。
16、キー：ディスク、カード、は、システムの設定を変更できます。
17、選曲キー：チャプターを送ったり戻したりします。
18、キー：音質の調整画面を呼び出し、調整することができます。
19、キー：モードの字幕の有無を選択します。
20、キー：メインメニューを呼び出します。
21、時間キー：再生モードでは時間を表示します。
22、キー：再生、再生用のVCDモード機能でタイトルメニューを表　　示します。
23、上下キー：、カードのトラックを選択します。
24、キー：モードでアングルを変更します。
25、キー：モードなどで、リピート再生機能を設定します。
（注：リモート効果なし）
26、バンドキー：バンド切り替え26、ラジオ。
27、キー：ラジオを再生します。
28、ミュートキー：ミュートをオン/オフします。
29スクロールキー：画面角度を調整します。
30スクロールキー：画面角度を調整します。

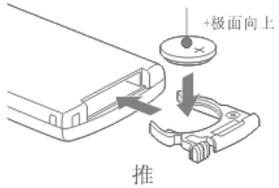
操作パネルキーの説明

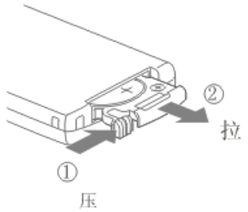
(1) [⏏]ディスクを取り出します。
(2) 左複合キー①
・ボリュームボタンは、音量を上げるには時計回りに、下げるには逆に回します。
長押しすると電源OFFになります。
・ソースを切り替えるにはボリュームボタンを短押しします。
(3) 右複合キー②
・ディスク再生：USB、SD：左右に回して選局を行います。
・ラジオ再生：周波数の選択。短押回しで周波数の送り戻し、長回しで周波数サーチ。
・ミュート：短押しでミュートします。
(4) [GPS]ボタンを押して、GPSナビゲーションを起動します。
(5) 応答キー[☎]：着信時に応答します。
(6) スクロールキー[⊿]：短押しで画面角度調整、画面を開け閉めは長押しします。
(7) [RES]リセットボタン：システム障害またはフリーズ発生時、リセットボタン
を押すと、工場出　　荷時の状態にシステムを復元します。
(8) [⏏] Lockキー：盗難防止用に操作パネルを取り外すことができます。



※リモコンについての注意※

◆CR2025リチウム電池を使用してください。
◆通常使用では、電池は1年程度使用することができます。リモコンが操作されていない場合には電池を交換してください。
◆高温や直射日光の当たる場所にリモコンを置かないでください、リモコンが正しく動作しないことがあります。
◆バッテリーを取り外すときは、電池の向きをよく確認してください。
◆電池交換はリモコンの背面から電池を取り外してください。
◆バッテリーを取り付ける時は、リチウム電池を使用してください。
※以下の写真を参考に作業してください。
※①のロックを押して、②を引っ張ります。

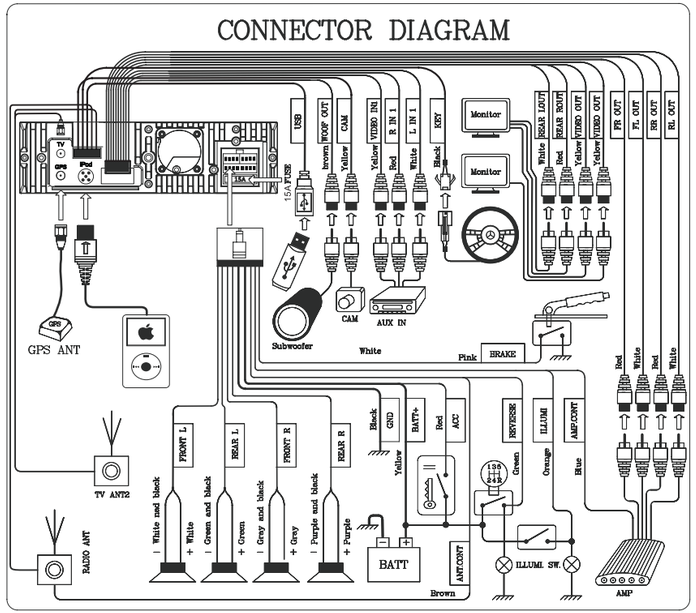




XIX. 故障の解決方法

症状	原因	解決方法
電源は入らない	ヒューズが壊れている	ヒューズを交換する
	何かによってマイクロプロセッサが動作不良	ボールペンなどでリセットボタンを押して、再起動する
エンジンを切ると、設定した情報を保存できない	バッテリ電源ケーブルの接続に誤りがある	配線を再度接続する
リモコンが効かない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
放送受信品質が悪い	オートアンテナが伸びていない、アンテナのアースが不十分	オートアンテナケーブルの接続を確認する。アンテナのアース接続を確認する
ディスクを挿入できない	既にディスクが挿入されている	ディスクを取り出してから挿入する
ディスクを再生できない	ディスクが損傷している	ディスクを交換する
	ディスクの向きが誤っている	ディスクのラベル面を上にして挿入する
	読み取りヘッドが汚れている	読み取りヘッドをクリーニングする
字幕、言語の切換ができない	ディスクに言語、字幕情報が1種類しかない	複数の言語、音声が入っていないディスクは切換えできない
映像がみえない	映像出力ケーブルの接続に誤りがある	配線を再度接続する
タッチパネルがずれている	タッチパネルの校正が行われていない	タッチパネルを校正する

接続配線図



Packing List

Packing List:

No	Name	Quantity	Remark
1	Remote controller	1	
2	Installation bracket and screw	1	(optional)
3	Power cord	1	
4	USB connection cable	1	
5	iPod connection cable	1	
6	Extension line for the steering wheel button	1	
7	Instructions	1	
8	Instructions	1	(optional)
9	AV cable assembly	1	
10	KEY, USB and CAM cable assembly	1	
11	GPS antenna	1	
12	TV switching cable	1	(optional)
13	RCA switching cable	1	(optional)